

# 平成20年度 事業活動報告書

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで

特定非営利活動法人 江戸城再建を目指す会

## 1. 主な事業の成果

平成20年度は、19年度までの活動の成果を踏まえ、草の根運動を更に大きく発展させる為に、会員拡大、築城プラン、事務局運営体制の強化を重点課題とした。この3つの課題遂行に必要な資金を確保すべく、会員目標1500名、活動資金500万円募集のキャンペーンを展開し、募金状況を見極めながら、これらを順次、実行してきた。

- 1) 会員拡大： 目標とした1500名には未達だったものの、昨年末の会員数は1118名に達し、11月には「会員総数1000名突破記念集会」を盛大に開催して、内外に当会の存在を広くアピールすることが出来た。
- 2) 「江戸城再建基本構想作成事業(築城プラン)」： 昨年の年初以来、心ある会員お一人おひとりの皆様からのご寄附を賜り、資金調達の目途がついたのを機会に、昨年8月、専門家に構想案の研究を依頼した。これにより、今秋にも「築城構想プラン」の第一次青写真を対外発表の運びとなった。今後、この「築城プラン」は江戸城再建に向けた世論形成の核になり得る、と確信する。
- 3) 事務局運営体制の強化： 10名余の無償ボランティアの懸命な努力により、事務局の仕事は着実に前進しつつある。他方、事業の拡大や深化を踏まえて、無償ボランティアだけに頼る体制づくりには限界も見えてきており、一部専任化の必要性が高まりつつある。
- 4) その他、「外部団体及び組織との交流・提携事業」については、千代田区内の諸団体と親しく接触する機縁をえて、千代田区内在住の諸団体、市民との連携を模索する画期的な年となった。経常的な事業である「広報宣伝」並びに「会員対象のイベント、セミナー」については、ほぼ計画通り、所定の成果を上げて、着実に実行することが出来た。

## 2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者範囲・人数	支出額(千円)
1500名 会員拡大	会員総数1500名の目標は達成出来なかったが、特別委員制度をつくって、会員拡大の核となる組織作りに着手し、一定の成果を上げることが出来た。 また、平成20年秋には「会員総数1000人突破記念集会」を開催し、当会の存在を内外にアピールすることができた(費用は他事業項目に計上) 平成20年末には、会員総数1118名に達した。	通年	日本国内	多数	不特定多数	0
江戸城再建 基本構想作成 事業 「築城構想プラン」	平成20年8月に着手し、21年2月の通常総会で中間報告を行った後、今秋にも第一次青写真の対外発表を行う予定。天守閣復元の可能性、つくるとしたら、どの程度の工費、工期がかかるか等について、専門的に研究、検討を進めていく。	8月から 来年7月 まで	法人 事務所等	8名	不特定 多数	3,505

江戸城再建 意義研究事業	「いま何故、江戸城再建か」に関し日本の伝統、 芸能、文化、建築の専門家に依頼して、セミナーを 開催した。 「落語に学ぶ江戸の暮らしと文化」 三遊亭竜楽 「江戸浮世絵人形に学ぶ江戸の暮らし」 岩下深雪人形師 「日本のお陰で」 フランソワーズモレシャン	6月 7月 11月	東京： 六本木等	13名 13名 35名	不特定 多数 50名 60名 360名	460
広報宣伝 啓蒙活動	情報紙「かわら版」を4回発行した他、チラシを 各方面に配布して、宣伝活動を強化した。また ホームページにブログを導入するなど機能の充 実を図った。	1月 3月 7月 11月	法人 事務所	5名	会員 及び 不特定 多数	2,994
シンポジウム・ イベント事業	イベント：・江戸城見学お花見会 ・太田道灌追慕の碑の集い ・1000名達成記念を祝う会	3月 9月 11月	東京	7名 5名 35名	80名 15名 350名及 不特定多 数	1,228
外部団体 組織との交流 提携事業	千代田区内の諸団体や組織・市民との連携を 広げる機運が生まれつつある。また、江戸幕府 鉄砲組百人隊、江戸の文化・伝統に関わる組 織や団体との交歓や交流を深めた。	通年	東京他	多数	会員 及び 不特定 多数	636
事務局運営 体制の強化	事務局スタッフ体制の強化： 事務局の常勤を始め無償ボランティアのスタッ フが中心となり、事務局の総括的業務、情報管 理、会計業務、入会手続き、PC入力、DM発送 等、イベントやセミナー会場の準備、受付、司会 等ボランティアの果たす役割が広がりつつある。 業務の標準化とスケジュール化： 業務の分散化の下に会計業務の基盤整備が 進む一方、認定NPOを視野に「新しくみづくりの 課題の整理」を始めた。 入会手続業務や勤務シフト等、業務の標準 化及びスケジュール化が進みつつあるが、事業 の深化・拡大に伴い、今後も強力に取り組む。 IT化(情報システム)の推進 会員のデータベース化の基本は進みつつある 一方では、入会受付から情報管理、プロモーシ ョン等の課題の整理を始めた。	通年	法人 事務所	全部で 10人	会員 及び 不特定 多数	
オリジナル グッズ製作 有償配布	当会活動の広報・宣伝を兼ねて、会員・サポーター 向けへのTシャツ有償配布を継続実施した。	通年	法人 事務所	12人	会員	110